

報告事項（1）

12月定例教育委員会 資料	
令和3年12月24日	
担当課	各課等

12月定例市議会一般質問教育長・副教育長答弁要旨について

【一般質問】

	〔議員名 会派〕		〔担当課〕	〔ページ〕
1	岡田 信俊	会派新生	学校教育課/生涯学習・スポーツ課	2～3
2	太田 縁	無所属	文化財課	4～5
3	岩永 安子	共産党	教育総務課	6
			学校保健給食課	7～8
4	金田 靖典	共産党	文化財課	9～10
5	西村 紳一郎	会派新生	総合教育センター	11～16
6	前田 伸一	公明党	学校教育課	17
7	吉野 恭介	会派新生	生涯学習・スポーツ課	18
			学校教育課	19
8	平野 真理子	公明党	学校教育課	20
9	朝野 和隆	会派新生	文化財課	21～22
10	浅野 博文	公明党	総合教育センター	23
11	伊藤 幾子	共産党	学校保健給食課	24
12	加藤 茂樹	会派新生	学校教育課/教育総務課	25～26
			生涯学習・スポーツ課	27～28

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課、生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年12月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 中学校における部活動の在り方について (1) 地域部活動について (2) 今後の取り組みについて</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇) 部活動は全てを教員が担うのではなく、生徒への指導等に意欲を有する地域人材の協力の下で、生徒にとって望ましいスポーツ・文化活動を地域が支えていくことが求められる。部活動についてこのように改革されようとしているが、現在の状況を教育長に伺う。</p> <p>(追及1) 本市では地域運営型部活動推進モデル事業として、特定非営利活動法人鹿の助スポーツクラブに委託されています。本事業はどのようなことを目指し、具体的にはどのようなことに取り組んでいるのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇) ご指摘のとおり部活動の在り方について検討していく必要があると考えております。鳥取市としても部活動改革委員会を設置し、生徒にとって望ましい部活動の実現と、部活動における教員の負担軽減という二つの視点から協議を始めたところです。平成30年度から拡充してきました地域人材の部活動指導員としての配置は、それら二つのことに有効であり、今後も希望する全ての学校・部に配置できるよう努めてまいります。と同時に、休日の部活動の段階的な地域移行について、それぞれの学校・部が置かれている状況を踏まえた検討を進めていく必要があります。今年度はまずスポーツにおいて、地域運営型部活動推進モデル事業を鹿野町で取り組んでいるところです。</p> <p>(追及1) 本事業では、総合型地域スポーツクラブが、地域のスポーツの指導者を平日の部活動に派遣したり、休日にスポーツクラブを開設し生徒を受け入れることで、生徒に対してより専門的な競技指導、地域で子どもを育てる環境の構築、教員の部活動に係る負担軽減を目指しています。本年度では、地域に新たな部活動の取組みを周知すること、教員・保護者・生徒に対しアンケートを実施し部活動に係る様々な意見をまとめること、休日にスポーツクラブを試行的に開設することを計画しています。これらを通じて、多世代交流や地域の活性化が進んだり、地域の皆さんの子ども達への支援や関心が高まることを期待するところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
		対応済	
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課、生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年12月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 中学校における部活動の在り方について (1) 地域部活動について (2) 今後の取り組みについて		
【質問要旨】 (追及2) 本市では地域運営型部活動推進モデル事業として、特定非営利活動法人鹿の助スポーツクラブに委託されています。本事業はどのようなことを目指し、具体的にはどのようなことに取り組んでいるのか。			
【答弁要旨】 (追及2) 本事業では、総合型地域スポーツクラブが、地域のスポーツの指導者を平日の部活動に派遣したり、休日にスポーツクラブを開設し生徒を受け入れることで、生徒に対してより専門的な競技指導、地域で子どもを育てる環境の構築、教員の部活動に係る負担軽減を目指しています。本年度では、地域に新たな部活動の取組みを周知すること、教員・保護者・生徒に対しアンケートを実施し部活動に係る様々な意見をまとめること、休日にスポーツクラブを試行的に開設することを計画しています。これらを通じて、多世代交流や地域の活性化が進んだり、地域の皆さんの子ども達への支援や関心が高まることを期待するところです。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	2 地域資源を活かした暮らしとまちづくりについて (3) 歴史資料を活用した地理情報提供について		
【質問要旨】 (追及4) 開発などの際に、埋蔵文化財包蔵地の確認を行う必要があると聞いているが、「埋蔵文化財包蔵地」とはどのようなものか。 (追及5) 埋蔵文化財包蔵地の位置データについて、GISに表示して市内での情報共有を図ってはどうか。			
【答弁要旨】 (追及4) 文化財保護法では、埋蔵文化財は文化財が土地に埋蔵されている状態の総称とされている。具体的には、集落跡・古墳・城跡といった遺跡、そこから出土する土器・石器・埴輪といった遺物のことをいい、これらの存在が想定される土地のことを埋蔵文化財包蔵地という。埋蔵文化財包蔵地の範囲内で建築・土木工事等を行う場合には、工事着手60日前までに文化財保護法に基づいた手続きが必要となる。 (追及5) 埋蔵文化財包蔵地については、開発許可等関係業務の参考に資するため、現在GISの情報を市内で共有できるよう作業を進めており、年度内には実施できる見込みである。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>3 歴史遺産を大切にしまちづくりについて (2) 城下町及び歴史的文化遺産の集積地区の活用について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及7) 鳥取市の地図情報サービスに重要文化財の情報は掲載されているが、市の指定文化財等、掲載されていないものもある。他の地図情報との一覧性を高めるために、掲載を検討してはどうか。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及7) 美術工芸品等、所在を公表することで盗難の可能性のあるものや、所有者都合により公開できないものが含まれることから、すべての文化財情報を市の地図情報サービスで公開することは難しい。活用・情報公開の条件が整っている文化財については、対応を検討し、公開を図っていききたい。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
<p>◆ 対応方針 追及7について、条件を整備し、公開を図っていく。</p>			
<p>◆ 進捗状況 現在、GIS上のデータ入力には校正段階であり、今後公開条件等を検討して対応していく。</p>			
<p>◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)</p>			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 地球温暖化対策について (2) 削減の具体化について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及6) 学校・図書館などを含めた公共施設の屋上に太陽光パネルを設置して「公共施設の電力再エネ100%」を進めるつもりで、積極的に行政自らが手掛けることが必要ではないかと考えるが、教育長の所見を問う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及6) 学校、図書館などの教育関連施設の省エネや再エネに努め、温室効果ガス排出量の削減につなげていくことが重要と考えます。 とりわけ、学校施設については、現在の喫緊の課題として老朽化対策に取り組んでおり、こうした事業を進める中で、省エネ、再エネの取り組みについても検討することが必要と考えています。 引き続き、関係部局と連携を図りながら、環境へ配慮した取り組みを進めていきます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 学校のトイレへの生理用品配置について (1) 現状と今後の取り組みについて		
【質問要旨】 (登壇) 6月、市議会の女性議員で、「小中学校のトイレに生理用品を設置するよう要望しました」が、いまだ設置されていません。「小中学校のトイレに生理用品の設置の要望」について、どういう検討がされ、配置されていないのか、その理由について伺う。 (追及1) 「コロナ禍で経済的な理由から生理用品が買えない」だけでなく、日本においては「生理についてオープンに語れない、恥ずかしいという声がある」、今もタブー意識が根強く、理解が広がりづらい。「生理の貧困」について、どのように理解されているか伺います。			
【答弁要旨】 (登壇) 6月議会で平野議員から質問をいただき、その後女性議員の皆様からの要望を受けて、あらためて学校内の状況確認をおこないました。その中で学校長や養護教諭と意見交換を行いました。現時点では、衛生面や管理面での問題から、一時的に生理用品が必要となった場合には従来通り保健室での対応とし、一人一人に寄り添った対応を続けてまいりたいと考えております。 (追及1) 世界的にもこの生理の貧困については大きな問題となっており、日本においても、コロナ禍による収入の減少などで困窮し、生理用品を購入することも困難な方がいらっしゃるということは承知しています。多くの方々が様々なかたちで情報を発信し、声を上げられたことは、生理をはじめとする女性特有の問題について、社会全体で考えるきっかけになったと考えています。 いずれにしても、国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に掲げられた世界共通のゴールである「貧困の解消」や「ジェンダーの平等」等に向けて、取り組んでいくべき課題であると理解しています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 学校のトイレへの生理用品配置について (1) 現状と今後の取り組みについて		
【質問要旨】 (追及2) 東京都港区では、小学5年から中学3年までのすべての女子児童生徒2,400人にアンケートを行い、「学校で生理用品がなくて困ったことがある 17%」で、困った理由は、「持参するのを忘れた 95%」「家庭で購入が準備できなかった 5%」だったということです。鳥取市では子どもの声を聞かれたか？ (追及3) 鳥取市でも小中学校のトイレに生理用品を設置してほしい。			
【答弁要旨】 (追及2) 本市教育委員会ではこれまでのところ、東京都港区のようなかたちで大規模なアンケート調査を行い、直接子どもの声を聞くということはありません。ただし、一部の生徒や養護教諭、校長等から、さまざまな機会をとらえて状況を聞き取るなど、把握に努めているところです。 (追及3) 先ほどもお答えしましたとおり、現時点では、学校のトイレに生理用品を設置するという事は、衛生面・管理面の問題などから考えておりませんが、様々なチャンネルで状況を把握し、児童生徒一人一人に寄り添いながら、児童生徒はもとより、保護者からも相談しやすい環境づくりに努めてまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	金田 靖典	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 青谷上寺地遺跡の現状と課題について (1) 青谷かみじち史跡公園について (2) 地域の取り組みについて (3) 今後について		
【質問要旨】 (登壇) 青谷かみじち史跡公園の整備が進んでいるが、今後の整備のスケジュールと、本市の整備への関わり方について伺う。			
【答弁要旨】 (登壇) 青谷上寺地遺跡の整備については、平成21年度に鳥取県が保存管理計画と整備活用基本計画を策定し、平成28年度から平成30年度の3か年をかけて市も共同で整備活用基本計画の詳細化と整備基本設計を実施したところである。令和2年度からは史跡の山陰道南側の整備に着手しており、近々展示ガイダンス施設の建築工事が始まり、令和5年秋に先行オープンとの予定である。その後、山陰道北側の整備を経て令和11年度に全体の整備を終え、グランドオープンする計画である。本市としても整備に対して応分の負担をしており、今後も県と共同で事業を進めてゆく。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	金田 靖典	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年12月7日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 青谷上寺地遺跡の現状と課題について (1) 青谷かみじち史跡公園について (2) 地域の取り組みについて (3) 今後について		
【質問要旨】 (追及1) 青谷上寺地遺跡の整備に入っているが、青谷地域には青谷上寺地遺跡に関する活動を行っている団体が多くあり、なかには国の史跡に指定される以前から組織された団体もある。青谷かみじち史跡公園の運営の中で、このような地元の団体等とどのように連携を図っていくのか。 (追及2) 整備の進捗に伴う、青谷上寺地遺跡展示館の今後の見通しについて伺う。			
【答弁要旨】 (追及1) 仮称「青谷かみじち史跡公園」の運営体制については、現在県と市で検討している段階であり、まだ確定していない。今年度から、青谷地域にぎわい創出実行委員会が青谷上寺地遺跡利活用推進事業部会を設置し、史跡公園の楽しみ方とまちのにぎわいづくりを考える集いを開催されている。その他にも青谷上寺地遺跡クラブなど、青谷上寺地遺跡の活用や遺跡を活かしたまちづくりに取り組んでいる団体が数多くある。史跡の保存活用や市民の郷土愛の醸成のためにも、それらの団体と一緒に取り組むことは必要であることから、連携体制の構築を地域の方や県と一緒に考えていきたいと考える。 (追及2) 青谷上寺地遺跡展示館は、上寺地遺跡の出土品を展示公開する施設として平成13年度に開館した。開館以降、多くの来場者があり、青谷上寺地遺跡の魅力を全国に向けて発信してきた。この施設については、当初から常設のガイダンス施設ができるまでの仮設展示館として位置付けられており、整備事業の実施によって展示ガイダンス施設が建設されることで、令和5年度末にはその役割を終え、閉鎖することになる。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 不登校未然防止といじめ防止に関連して</p> <p>(1) 2020年度の不登校、いじめの調査結果について</p> <p>(2) 不登校児童が増加した要因と背景について</p> <p>(3) いじめ件数が増加した要因と背景について</p> <p>(4) 不登校未然防止対策の現状と課題について</p> <p>(5) いじめへの指導を通した子ども教育について</p> <p>(6) コロナ禍での子ども相談窓口の充実について</p> <p>(7) 本市の「明るい未来プラン」の取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>本県の状況は全国とは違い、不登校・いじめともに増加しているが、本市の不登校、いじめの調査結果とその結果に対する検証内容について、教育長の見解を尋ねる。</p> <p>(追及1)</p> <p>県下の不登校の調査結果は、中学校は微増だが、小学校では大きく増加している。文科省は不登校の要因・背景は複合化や多様性の傾向があり、特定できないことも多いと見解を述べている。悩みや不安を誰にも相談できずに、孤立を深める児童生徒の姿が伺えるが、本市の不登校児童が増加した要因と背景について尋ねる。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>令和2年度の本市における不登校児童生徒の出現率は小学校が1.28%、中学校が4.26%と、全国や県より高い状況にあります。特に小学校低学年の不登校児童については年々大きく増加しています。また、令和2年度のいじめの認知件数は、小学校1287件、中学校は142件でした。小学校においては、1年生から3年生といった下学年での増加が顕著に見られます。不登校、いじめともに未然防止と早期発見、早期対応に留意して取り組んでおりますが、子どもたちの変容をよりの確に捉え、引き続き丁寧に対応したいと考えております。</p> <p>(追及1)</p> <p>令和2年度の不登校の主な要因は小中学校とも「無気力・不安」、ゲームや動画視聴、SNSなどの使用による昼夜逆転等の「生活リズムの乱れ」が多くなっています。また、過干渉、放任、虐待といった「親子のかかわり方」を背景にしたものも要因として多い傾向にありました。中学校においては、「学業の不振」、「友人関係をめぐる問題」なども多く、学習のつまづきや人とのかかわりに悩む生徒が多いことが分かりました。不登校の要因は多様であり、複雑にからみあい、表面化しにくい部分があります。学校においては家庭はもとより、関係機関とも連携を図りながら一人ひとりの状況を見取り、適切な支援につなげるように対応をしているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 不登校未然防止といじめ防止に関連して</p> <p>(1) 2020年度の不登校、いじめの調査結果について</p> <p>(2) 不登校児童が増加した要因と背景について</p> <p>(3) いじめ件数が増加した要因と背景について</p> <p>(4) 不登校未然防止対策の現状と課題について</p> <p>(5) いじめへの指導を通した子ども教育について</p> <p>(6) コロナ禍での子ども相談窓口の充実について</p> <p>(7) 本市の「明るい未来プラン」の取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2)</p> <p>不登校と認知されるまでに年間30日の期間がある。第2期鳥取市教育振興基本計画の基本方針1「教育の充実を図りその質を高めます」を掲げ、推進施策2「すべての子どもの学びの保障の充実」の中で、「不登校やその傾向にある児童生徒の教育を保障し、適切な支援を行います」と明記され、現状と課題について記載されているが、詳細な説明とその取組について尋ねる。</p> <p>(追及3)</p> <p>全国の調査結果ではいじめ件数は一斉休校などの影響で軒並み減少しているが、本県の場合は小学校で増加している。本市のいじめ件数の増加した要因と背景について尋ねる。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2)</p> <p>各学校では、全児童生徒を対象に共通の「スクリーニングシート」を活用し、子どもからのサインを早期に組織的に発見したり、適切な支援を考えたりしています。そして、不登校等の児童生徒一人ひとりの状況や要因に応じて、教職員が対応することはもとより、社会的自立や学校復帰に向けた支援のために、学校以外の人材や関係機関と密に連携することにも力を入れています。また、学校内では相談室、学校外ではサポートルーム、フリースクール、県の事業である自宅でのICT等を活用した学習など、不登校の児童生徒の実態に応じて、多様な学びの機会の確保に努めています。</p> <p>(追及3)</p> <p>令和2年度の本市のいじめの認知件数は令和元年度より小・中学校とも増加しています。本市では、学校におけるいじめの積極的な認知、とりわけ小学校低学年段階でよく見られる日常的なトラブルも積極的にいじめと認知することを進めたことが影響したものと考えます。いじめの発見は、教職員によるものや児童生徒本人やその保護者からの相談、生活アンケート等がきっかけになることが多くなっています。このように、学校が児童生徒の状況を細やかにキャッチし、組織でいじめを積極的に認知することが、いじめの早期発見・早期対応に必要なだと考えているところです。ただ、ICT機器等の普及が進む中、いじめ自体が見えにくくなる状況もありますので、引き続き丁寧に児童生徒のサインを捉えながら対応していきたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 不登校未然防止といじめ防止に関連して (1) 2020年度の不登校、いじめの調査結果について (2) 不登校児童が増加した要因と背景について (3) いじめ件数が増加した要因と背景について (4) 不登校未然防止対策の現状と課題について (5) いじめへの指導を通した子ども教育について (6) コロナ禍での子ども相談窓口の充実について (7) 本市の「明るい未来プラン」の取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) いじめは「叩いたり、蹴ったり」などの身体的なもの、また、「仲間外し」「無視」など心理的なものがあると考えられるが、コロナ禍での教育現場でのいじめの特徴について尋ねる。</p> <p>(追及5) いじめの指導をするにあたり対応を講ずるにはいじめの構造を把握することが必要と考える。「個人対個人」「個人対多数」「小集団対個人」「大集団対個人」またSNSを介しての陰湿ないじめなど、いじめている側、いじめられている側の構造的なイメージが想定される。本市のコロナ禍でのいじめの構造の状況について、教育現場での主だった内容について尋ねる。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 令和2年度の本市のいじめの内容については、小中学生ともに「冷やかしかからかい」「嫌なことやはずかしいこと」が多く、このことはコロナ禍以前と大きな変化はありませんでした。しかし、昨年は、同じ「ひやかしかからかい」でも、厳しい内容の暴言やけんかにつながるものもありました。また、近年は、各家庭での通信環境の整備やICT機器の普及により、ネットゲームやSNSなどでのトラブルをきっかけとしていじめに発展したケースが報告されています。こうした児童生徒を取り巻く環境の変化も踏まえながら、いじめの定義に基づいて積極的にいじめを認知し、丁寧に対応しているところです。</p> <p>(追及5) いじめは「児童生徒に対して、一定の人間関係にある他の児童生徒によって行われる心理的または物理的な影響を与える行為で、対象になった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」を言い、その状況は様々です。コロナ禍によって、この状況に大きな変化は見られませんが、まず、いじめる側が「個人」であるのか、「集団」であるのか、どのような方法でいじめを行っているのか、といった事実関係をしっかりと把握しています。どのような状況であっても、共通していることは、いじめを受けている児童生徒の気持ちに寄り添いながら対応することです。そして、いじめを行った側に対して、いじめは誤った行為であると認識できるように指導をしています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 不登校未然防止といじめ防止に関連して</p> <p>(1) 2020年度の不登校、いじめの調査結果について</p> <p>(2) 不登校児童が増加した要因と背景について</p> <p>(3) いじめ件数が増加した要因と背景について</p> <p>(4) 不登校未然防止対策の現状と課題について</p> <p>(5) いじめへの指導を通した子ども教育について</p> <p>(6) コロナ禍での子ども相談窓口の充実について</p> <p>(7) 本市の「明るい未来プラン」の取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及6) いじめる側の子どもへの対応について伺う。</p> <p>(追及7) いじめられている側の子どもへの対応について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及6) まず、第一にやるべきことは、どのような場合でも絶対に許される行為ではないということ、いじめをしてはいけないということを毅然とした態度で指導し行為をやめさせることです。その上で、事実関係はもとより、なぜいじめを行ったのか、その心情や背景についても把握し、いじめを行った児童生徒について理解するように努めています。さらに加害の原因となった問題に本人が気づき、適切な解決方法を見出せるよう、その児童生徒の健全な心身の成長を願う姿勢で指導することが大切だと考えています。</p> <p>(追及7) いじめを認知した場合、いじめを受けた児童生徒や保護者の心情にまず寄り添うことが大事だと考えています。いじめに対する不安や心配を取り除くことを一番に考えて対応しています。いじめを受けた児童生徒からはいじめを受けた状況や心情を丁寧に聞き取ることが大切にしていきますし、子どもの心情に寄り添い、しっかりと守っていく姿勢を示すことが信頼につながっていくものと考えます。また、いじめの事実が明らかになった時点で、保護者との連携が大切になります。いじめを受けた側、行った側両方の保護者に事実を正確に伝えるとともに、今後の支援や対応の方針を示します。表面的な変化を捉えて、いじめが解決したと判断するのではなく、いじめを受けた児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように丁寧に対応することに努めております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 不登校未然防止といじめ防止に関連して</p> <p>(1) 2020年度の不登校、いじめの調査結果について</p> <p>(2) 不登校児童が増加した要因と背景について</p> <p>(3) いじめ件数が増加した要因と背景について</p> <p>(4) 不登校未然防止対策の現状と課題について</p> <p>(5) いじめへの指導を通した子ども教育について</p> <p>(6) コロナ禍での子ども相談窓口の充実について</p> <p>(7) 本市の「明るい未来プラン」の取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及8) いじめの周囲にいる子どもたちへの対応の状況について伺う。</p> <p>(追及9) 本市のいじめへの指導を通した子ども教育について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及8) いじめの周囲にいる児童生徒には、見て見ぬふりや無関心、またはいじめを助長するなど、様々な姿が考えられるため、丁寧な対応が必要だと考えています。学級の中には、言葉や行動では表すことができず、心を痛めながらその場にいる場合も考えられます。いじめの解決に向けてまずは、児童生徒が自分の周りで起こっているいじめを自分の事として捉えられるよう意識できることが重要です。教職員の一方的な思いだけではなく、子どもたちの声を取り上げながら、日頃からいじめを許さず、子どもたち自身が主体的に解決に向かえるように心がけて指導を行っていくことが大切だと考えています。</p> <p>(追及9) いじめ問題の背景には、児童生徒を取り巻く様々な要因が絡み合っていると考えられますが、その解決にあたっては、「いじめは絶対に許されない行為である」という強い共通認識のもと、学校・家庭・地域が一体となって取り組む必要があります。何より重要なのは、いじめを生まない環境・風土を築くことです。子ども達には、学校では様々な教育活動を通じて、また地域では様々な行事や活動を通して、お互いの価値観を認め合い、人を大切にすることを学んでほしいと考えています。そして、子ども達だけでなく、私達大人たちが心豊かで安心安全な社会をつくるという認識をしっかりと持って、手本となるような行動を示すことが、子どもたちの人を大切にする、強度を愛する心を育むことに対して、大変重要なことと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 不登校未然防止といじめ防止に関連して (1) 2020年度の不登校、いじめの調査結果について (2) 不登校児童が増加した要因と背景について (3) いじめ件数が増加した要因と背景について (4) 不登校未然防止対策の現状と課題について (5) いじめへの指導を通した子ども教育について (6) コロナ禍での子ども相談窓口の充実について (7) 本市の「明るい未来プラン」の取組について</p>		
【質問要旨】	<p>(追及10) 行事や部活動の中止や延期等、コロナ禍によって子どもたちの生活は大きく変化した。多感な年代の児童生徒が居場所を失ったり、追い詰められたりする中で、いじめが見逃され、悩んでいる児童生徒がいるのではないかと考える。学校現場だけでは多様な課題への対応は十分といえない。こころのケアには相談窓口の充実が必要だと考えるが、本市の取組状況について尋ねる。</p> <p>(追及11) 市長答弁 本市はアフターコロナを見据えて「復興・再生プラン」「明るい未来プラン」を示し、これは第2期鳥取市教育振興基本計画との整合性も図られている。不登校未然防止、いじめ防止を最重点にした施策により、児童生徒が将来、本市に帰って来られる環境をつくり、本市の明るい未来に繋げることが期待できると考える。市長の見解を尋ねる。</p>		
【答弁要旨】	<p>(追及10) 小学生は、いじめを受けた相談を学級担任や家族にしている場合がほとんどです。中学生では、教科担任や部活動の顧問など学級担任以外の教職員への相談も多くなっています。すべての子どもたちが、安心・安全に学校生活を送ることができるようにアンテナを高くし、子どもたちの変化やサインを見逃さず、適切な対応に心がけています。学校以外の相談窓口として、「こころの相談電話」や「いじめ110番」、「いじめ相談専用メール」などの相談先の周知を図っています。学校現場だけではなく、家庭や地域、関係機関と連携を密にし、子ども達が心豊かで安心、安全に成長できるよう努めてまいります。</p> <p>(追及11) 市長答弁 本市がコロナ禍の収束後を見据えて作成した「新型コロナウイルス感染症からの鳥取市復興・再生プラン」（愛称：明るい未来プラン）と教育委員会が作成した第2期鳥取市教育振興基本計画とは、人を大切にし、人を中心にまちづくりを推進していることで共通しています。行政と教育現場が協力し、不登校の未然防止やいじめ防止等のもとより、子ども達への適切な支援によって、人とつながることや一人ひとりの人権の大切さ、さらには郷土愛を育んでいくことが重要だと考えています。このことが一人ひとりにやさしい、ひとを大切にする心を育み、鳥取市が好き、将来、鳥取市に帰ってきたいという気持ちを醸成し、本市の明るい未来に繋がっていくと考えます。</p>		
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日	令和3年12月24日(12月定例教育委員会)		

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年12月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>2 脱炭素社会の構築について</p> <p>(1) ゼロカーボンシティについて</p> <p>① 温室効果ガス削減に向けた考え方について</p> <p>② 環境教育について</p> <p>③ 今後の取り組みについて</p> <p>・SDGs未来都市について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及1)</p> <p>本市の学校では、どのような考え方で環境教育に取り組んでいるのか。その教育的効果について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及1)</p> <p>小中学校では、物やお金の使い方、衣食住のあり方、自然環境の保全等、持続可能な社会の構築について発達段階に合わせた学習をしていきます。家庭科や社会科等で多く扱いますが、これらの教科に限らず様々な教科等の学習にSDGsの視点は含まれています。食品ロスを減らす取組や地球温暖化を防ぐ取組について話し合い実践するなど、いかに実生活の中で行動化につないでいくかも大切な学びとなっています。子どもたちが将来どのような仕事に就こうとも、持続可能な社会を皆でつくっていかうとする意識や実践力が身につくよう、これからも環境教育を推進していきたいと考えます。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年12月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症からの鳥取市復興・再生プランについて (2) 若年層の希望を叶え、暮らせるまちづくりについて</p> <p>① 地域活動に繋がる社会の仕組みについて ② 経済的価値観の醸成について ③ 教育環境について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及2) 若者達が地域の人達と交流したり、考えたり、行動していく事が、故郷を想う心を育てる事につながると思うが、本市ではどのような取組を進めているか。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及2) 地区公民館では「子どもと大人のふれあい事業」として、傘踊りや麒麟獅子舞といった伝統文化の継承を進める異世代交流に支援を行っています。地域では、おやじの会と中高生が一緒になり小学生と交流するキャンプを行ったり、大学生が小学生と一緒に企画し料理教室を開催する等、地域と青少年が交流を深めています。これらの事業を通じて参加した子どもが大人になったとき、運営側に回り次世代の子どもを指導するといった流れを生み出し、地域の「絆」「つながり」を育てる事業を進めることが、故郷を大切にしつつ地域を担う人材づくりに結び付いていくと考えます。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年12月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症からの鳥取市復興・再生プランについて (2) 若年層の希望を叶え、暮らせるまちづくりについて ① 地域活動に繋がる社会の仕組みについて ② 経済的価値観の醸成について ③ 教育環境について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 地域社会とつながることの大切さを児童生徒に醸成する取り組みが「ふるさとキャリア教育」だと認識しているが、若年層の希望を叶える経験の場だという視点で本市のキャリア教育がなされているのか、現状とその成果、今後の方針について尋ねる。</p> <p>(追及5) 鳥取市の教育をよりよく磨き、若者たちの希望を膨らませる教育を鳥取市民に提供していく上で、公私立の隔てなく交流されるべきと考えるが、教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 子どもたちが夢を抱き、自ら学ぶ意欲を持ち、社会で生きていく力をつけることが、キャリア教育で求められることだと考えます。各学校では、日常の教育活動はもとより、職業体験や他地域との交流など多様な体験活動や、大学生や地域の大人と語り合うトークプログラムなど工夫した活動を行っており、児童生徒は、様々な人・もの・ことに会う中で、夢を持ったり、地域の一員としての自覚を深めたり、自分の生き方や進路を考えたりと多くのことを学んでいます。また、学校運営協議会や地域学校協働本部との連携もこの学習を支援する取組の一つです。今後も、特別活動を要としながら、教育活動全体を通して計画的、系統的にキャリア教育を行っていきたいと考えています。</p> <p>(追及5) 私立の学校は、独自の教育課程が展開でき、より応用的、発展的な学習を行いやすい等の強みを生かした教育を行っておられます。公立学校も参考にすべき部分があると感じています。一方、公立学校は、どの子どもにも平等に学習する機会を与え、学習指導要領に示された内容をより広く、確実に学ぶことを大切にしています。また、先ほど議員がおっしゃった地域の良さに触れながら特色ある教育が行えることは、地域に根ざした公立学校の一つの強みであると思います。そのような互いの良さを生かした実践について交流し合うことは価値あることであり、互いに情報交換、意見交換しながらより良い教育を行っていくことは大切だと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年12月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 医療的ケア児の支援について (1) 医療的ケア児支援法について (2) 支援について (3) 関係部署による連携について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及3) 同じく学校等における医療的ケアその他の支援についても看護師の配置が必須となる。また、教職員は医療的ケアを学校において行う教育的意義や必要な衛生環境などについて理解しておく必要がある。これらのことについて、現状どのように取り組まれているか、また今後どのように取り組まれるのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及3) 現在、本市の小・中・義務教育学校では看護師を派遣しての医療的ケアを行っている児童生徒はいません。本年度は、医療的ケアの必要な子どもの在籍が見込まれたため予算は確保しています。 また、学校では、教職員と看護師が連携して医療的ケアが必要な児童生徒の支援にあたるのが重要であると考えます。教育委員会としましては、医療的ケアの必要な児童生徒が、安心・安全に学校生活を送ることができるよう、教職員の学校における医療的ケアへの理解をさらに深めるために、研修会への出席を促しているところです。今後も、教育、医療、福祉などの関係部局や機関と連携しながら、医療的ケアの必要な児童生徒の対応に努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年12月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 鳥取城跡周辺の観光推進について (1) 鳥取城跡の整備状況について (2) 活用について (3) 今後の取組について</p>		
<p>【質問要旨】 (登壇) 鳥取城跡の整備状況について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (登壇) 史跡鳥取城跡の保存整備については、周辺施設との調整や国庫補助金のシーリングによる工程の延長こそあるものの、平成17年度に策定した保存整備基本計画に沿って着実に前進させてきた。すでに平成30年度に擬宝珠橋、令和2年度に大手門の建物の復元が完了しており、令和6年度に中ノ御門の渡櫓門、令和9年度に太鼓御門の復元完成を見込んでいる。これにより保存整備基本計画の第1段階に位置づけられた大手登城路の整備が完了する。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年12月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>1 鳥取城跡周辺の観光推進について (1) 鳥取城跡の整備状況について (2) 活用について (3) 今後の取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及1) 山上ノ丸を含めた鳥取城の今後の整備について伺う。</p> <p>(追及2) 史跡鳥取城内に所在する重要文化財仁風閣の整備と活用について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及1) 平成17年度に策定した保存整備基本計画では、三階櫓復元を含む二ノ丸の整備を第2段階整備の中心としている。山上ノ丸については、昭和18年の鳥取大震災のほか、戦時中の防空監視所、昭和40年代のロープウェイ設置工事など段階的な改変を受けているため、整備に先立って詳細な調査を行う必要がある。第2段階整備の完了後、適切な保存修理・整備等を実施していきたいと考えている。現在も、公園管理者や久松山を考える会等のボランティアと連携して枝払い・草刈りなどによる環境保持と景観の改善に取り組んでいるところであり、当面はこの取り組みを着実に進めていきたい。</p> <p>(追及2) 重要文化財仁風閣は、国宝である迎賓館赤坂離宮を設計した片山東熊が、旧鳥取藩主池田家の求めに応じて設計し、皇太子行啓の宿舎として明治40年に建築された山陰を代表する洋館建築である。活用については、建造物の保存に影響しない範囲で実施している。敷地は史跡に指定されているため、杭打ちや構造物の長期の設置などの現状変更には文化庁の許可が必要である。従来も映画のロケや結婚式の会場、様々なイベントの会場としても活用されてきた。現在は、敷地内でのグランピング実験などを行い、さらに広く文化財を活用する方法を検討しているところである。令和6年度～9年度にかけて閉館し修理工事を実施する間に、どのようなことが可能なのか多角的に活用方法を検討し、それらを踏まえてリニューアルを目指したいと考えている。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	浅野 博文	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年12月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>2 交通安全対策について (1) 交通事故の現状について (2) 交通マナーアップの強化について (3) 通学路の安全対策について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及4) 今年6月、千葉県八街市で起きた児童5人死傷事故を受けて行われている通学路点検で、全国の警察が1万数千箇所のにぼる危険箇所を確認したとの報道が先日ありました。本市の通学路における安全確保のため、危険箇所への対策が求められていますが、どのように点検し、対応しているのか伺います。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及4) 本市では平成24年度より毎年、学校や地域からの要望をもとに、学校と保護者、そして地域代表、また各道路管理者、警察などの関係者と一緒に、通学路の合同安全点検を実施しています。合同点検で対策が必要と判断された箇所については、その内容により、道路管理者や警察、学校などが、それぞれ実施に向けた検討を進めることとなります。本年度は82箇所の合同点検を行い、そのうちの76箇所で対策が必要という結果でした。また、このたびの事故を受けて、本市が「見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所」として報告したのは6箇所でした。その内の5箇所はガードレールの設置や路面表示など、ハード面での対策であり、道路管理者に早い時期での対応をお願いしているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	伊藤 幾子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年12月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 行政のデジタル化について (1) 自治体情報システムの標準化・共通化について (2) 個人情報保護について		
【質問要旨】 (追及1) システムの標準化を進める17業務のひとつに就学援助がある。就学援助は、その支給基準は自治体によって違うもので、全国一律のシステムにするのには相当無理があると思うが、どうか。 (追及2) 「原則カスタマイズ不可となるため、標準仕様書に記載されていない機能は実装できない」と答えられている。どう考えても、自治体の独自性が奪われるものでしかないと思うが、どうか。			
【答弁要旨】 (追及1) 就学援助制度は、学校教育法第19条を根拠とし、認定基準は各市町村がそれぞれ規定することとなっており、各自治体が、地域の実情に応じてそれぞれ事業を実施しています。システムの標準化にあたっては、これまで、全国知事会や中核市市長会などが国に対して、地方の意見を十分聞くよう要望されたことを受け、国は「自治体の意見を丁寧に聴いて進める」と回答された上で、適切なシステムとなるよう統一・標準化に関する様々な検討が行われていると伺っております。本市としましても、今後、このシステムがどのような内容になるのか、注視しているところです。 (追及2) 本市では就学援助の事務手続きにシステム利用はしてはませんが、現在、国が進めているシステム標準化の議論の中では、各地方自治体が地域の実情に応じて実施している独自事業は、原則として標準化対象外とされています。ただし、本年9月に開催された「地方公共団体の基幹業務等システムの統一・標準化に関する関係府省会議」において、「自治体の独自施策についても、一律で標準化対象外とするのではなく、標準オプション機能やパラメータ処理で対応できないかといった丁寧な議論」を求める場面もあり、国としても独自施策を尊重しようという動きが見られます。先ほどと同様の答弁ですが、今後、このシステムがどのような内容になるのか、注視しているところです。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課、教育総務課
質問・答弁月日	令和3年12月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>4 小・中・義務教育学校の安全対策に関して</p> <p>(1) 現状について</p> <p>(2) 取り組みについて</p> <p>(3) 今後について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>本市の学校において、どのような安全対策が行われているのかお尋ねする。</p> <p>(追及1)</p> <p>外部からの不審者などから児童生徒を守るためには、定期的に訓練を行うことで安全性を確保する必要があると考える。学校の防犯訓練は、どのようにして行っているのか、内容について、お尋ねする。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>各学校における安全対策としましては、不審者侵入に対する防犯マニュアルを含む防災計画や危機管理マニュアルを作成しますとともに、それに基づいた不審者対応訓練や不審者侵入防止のための対策を行っています。侵入防止対策としましては、不審者侵入を知らせる通報装置を設置したり、学校によっては玄関などに防犯カメラを設置したりして対策を行っているところです。</p> <p>(追及1)</p> <p>学校における防犯訓練では、警察署の協力のもと、教職員がさすまた等を使って不審者に対応する訓練や、不審者に気付かれないように児童生徒を安全に退避させる訓練等を行っています。また、児童生徒に対しても、警察署の協力のもと防犯教室を実施して、不審者を刺激しない対応の仕方や助けを求める方法等について学び、児童生徒の防犯意識の啓発を図っています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
		対応済	
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課、教育総務課
質問・答弁月日	令和3年12月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>4 小・中・義務教育学校の安全対策に関して (1) 現状について (2) 取り組みについて (3) 今後について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及2) 児童生徒の安全を守るためには、安全対策のために設置した設備の点検を行うとともに、対策の充実を図ることが必要と考えるが、教育長の所見を伺う。 (追及3) 事件を未然に防ぐには、教職員が日頃からアンテナを高くし、些細な子ども達の変化や子ども達が発する小さなサインを見逃さないようにすることが大切と感じているが、今後どのように取り組んでいくのか、お尋ねする。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及2) 学校の安全管理のために設置した通報システムなどの設備等については、緊急事態発生時に、確実に使用できるようにしておくことが必要です。そのため、これらの設備等については、設備点検や訓練時の使用などを通じて不具合を把握し、必要に応じて修繕等を行うなど、適切な維持管理に努めています。また、現在一部の学校に設置している防犯カメラについて、今後、全ての学校へ整備する予定です。これら安全対策の充実を図り、児童生徒等が安全に安心して学校生活を過ごせるよう努めてまいります。 (追及3) おっしゃるとおり、事件を未然に防ぐには、教職員が子ども達の変化やサインを見逃さず、適切に対応することが大切です。学校では子ども達の変化やサインを把握するために、定期的に学校生活やいじめに関するアンケート調査を行ったり、スクリーニングシートを活用して子ども達の気になる状況を洗い出し、分析したりして、子ども達の変化やサインの早期把握を図っています。今後も、アンケート調査やスクリーニングのデータ分析を基にして、子ども達の問題を早期に察知し、より適切な支援となるよう努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年12月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>5 ワールドマスターズゲームズ2021関西に関連して</p> <p>(1) 現状について</p> <p>(2) 取り組みについて</p> <p>(3) 今後について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>ワールドマスターズゲームズとオリンピックでは何が違うのか、本市はどのような目的で大会誘致に取り組まれたのかを伺う。</p> <p>(追及1)</p> <p>鳥取ではアーチェリー競技が開催されると聞いていたが、その概要と国内外のエントリー者数の内訳を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>1896年から始まった4年に一度開催されるオリンピックは国を代表するアスリートが出場する競技会、1985年から始まったワールドマスターズゲームズはオリンピック開催国がその翌年に開催する30歳以上の方なら国を問わず誰でも参加できるイベントです。また、ワールドマスターズゲームズは、海外からの誘客や観光面での経済効果も達成すべき目的としていることも特徴です。本市では、開催競技となるアーチェリー競技の普及促進や国際大会の開催による中高年のスポーツ機運の向上はもちろんのこと、シティープロモーションや経済活動の活性化、本市の賑い創出を目的とし取り組んでいます。</p> <p>(追及1)</p> <p>鳥取で開催される予定であったアーチェリー競技はインドアとアウトドアの2部門で開催され、30代から70代までの10才刻みの5つのカテゴリーで順位を競い合うものでした。当初、エントリー者数は国内210名、国外131名となる合計341名でしたが、希望者が殺到したため令和3年9月に選手枠を拡大し、最終的には国内354名、国外199名となる合計553名がエントリーしたことになります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年12月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>5 ワールドマスタースゲームズ2021関西に関連して</p> <p>(1) 現状について</p> <p>(2) 取り組みについて</p> <p>(3) 今後について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 新聞報道ではワールドマスタースゲームズは延期となるとのことだが、再延期後のスケジュールはどのようなものとなるのか伺う。</p> <p>(追及3) 延期したとはいえ世界規模であるワールドマスタースゲームズは、本市にとってもビッグイベントであることは間違いのないところだが、ワールドマスタースゲームズを成功させるためには、必要なことはなにか、また本市としてどのように取り組んでいくのかを伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 大会組織委員会では10月26日に再延期を決定し、国際マスタースゲームズ協会（IMGA）から11月15日に承認されたところです。再延期後の会期については国際マスタースゲームズ協会（IMGA）で現在調整中ですが、大会組織委員会は5年後となる2026年の開催を目指し準備を進めるとしています。再延期となりましたが、これを受け鳥取県や本市実行委員会はそのまま存続し、大会開催までの間、広報活動や競技団体との調整を引き続き進める予定としています。</p> <p>(追及3) 先にご説明したとおり、ワールドマスタースゲームズは参加する人がスポーツを楽しみ競うことと併せて、開催地の食や文化に触れていただくことを目的としています。開催地にとっても観光面や経済面で大きな効果が期待されているところです。いわば、観光面での効果を意識したイベントとも言えます。このため大会の満足度を上昇させるためには、スポーツとツーリズムが一体となった組織づくりを進めることが大切です。教育委員会はもとより、今後、県や観光部局と十分に連携した運営体制を整えて大会準備に取り組んでまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年12月24日(12月定例教育委員会)			